

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 324

| | | | |
|------------|-------|------------|---------------------------------|
| 発生場所 | その他 | 精神・意識障害の有無 | リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク |
| 発生場所 (その他) | 職員通用口 | 無 | |
| 関連したもの | 段差 | 発生内容の分類 | |
| | | 転倒 | |

発生内容

病院を訪れた人が、出入口の段差（2段の階段）につまづいて転倒、骨折した。

概要

職員通用門は、7°～19°の間は開放されており、誰でも出入りできるようになっている。病院の近所に住む人が、院内の売店に行くために、職員通用門から院内へ入ろうとして、段差につまづき転倒した。大腿部痛を訴えるため整形外科受診。レントゲンで骨折を認めた。

要因

職員通用門の所に段差がある。職員通用門であるが、職員以外も自由に出入りしており、警備員等も常駐しておらず、目が届かない。

対策

段差が目につきやすいように、蛍光テープを貼布。職員通用門の閉鎖について検討中。

参照



職員出入口の全体



職員出入口の段差